

子供たちが学びを進める授業づくり ～学び合う場面を活用して～

授業の中で、直接指導できないときは、子供たちの学びが止まってしまうことが多い…。

どのようにしたら、少しでも自分たちで学びを進められるのだろう？



小学校自閉症・情緒障害
特別支援学級担任の
ラン先生

ラン学級

自閉症・情緒障害特別支援学級の在籍児童



第1学年
(自閉症)



第3学年
(自閉症・ADHD)



第5学年
(自閉症) (選択性かん黙)



自閉症・情緒障害特別支援学級において、間接指導の場面（教師が直接指導できない時間）に難しさを感じている先生が多くいます。児童生徒の学習が停滞しがちな間接指導の場面においても、自律的に学びを進めることができるように異年齢集団や障害特性に応じた「学び合う場面」を取り入れるポイントをまとめました。先生方が「やってみよう！」と思えるような授業モデルを提案します。

「学び合う場面」を取り入れるポイント



間接指導って、難しいです。子供たちに直接の指導ができないので…。

小学校自閉症・情緒障害
特別支援学級担任の
ラン先生

では、間接指導で「学び合う場面」を取り入れてみてはどうですか？
「学び合う」は、子供同士が関わりながら学ぶということです。



特別支援教育
コーディネーター



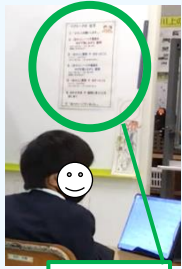
「学び合う」！？今でも、間接指導のときに、「先生、先生…」と
来る子供もいて、落ち着かなくて大変なのに…。無理です！

そういうときこそチャンスです！すぐにできるポイントを紹介しましょう！

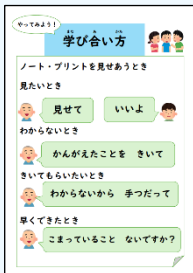


1 学び合い方を伝える

質問やペアトークの仕方を示す。



前面に貼る



口頭だけでなく
視覚的に示すと
取り組みやすい
です。

手元におく

子供同士で学び合えるように
仲介する。



どうやって書いたらいいの
かな。

聞きたいことがあるのなら、
質問してみたらいいよ。

子供同士をつなぐ意
図的な言葉掛けをし
てみましょう。

2 場と時間の保証をする

自分の席とは別に相談できる
場所を用意する。

何に困っているのかな。



※相談コーナーを利用している児童

自分から関わるものが
苦手な子供もいます
が、場所を設定する
ことで、相談しやすくな
る場合もあります。

ここまで読んでけど…。

授業の流れ、間接指導の時間にすることや
時間を視覚的に示す。



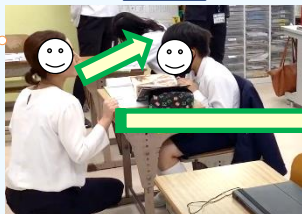
※ミニボードで視覚的に提示する。

「なにを」「いつまで」
「どれくらい」するの
かが分かると安心して
活動できます。

3 間接指導において、子供の活動を見守る

直接指導をしながら、他学年の学ぶ様子を気に留めておく。

5年生



1年生、ど
こまで進ん
でいるかな？

1年生



自分の考え
を伝える

話し合
いを見
る

分からな
いこと
を尋ねる

「学び合う場面」での
多様な学び方

「話し合う」
「自分の考えを伝える」
「友だちの考えを聞く」
「分からないことを
尋ねる」
「方法を提案する」
「他の友だちの
学び合いを見る」 等

1年生、学びが停滞
しているな。どこま
で進んだか聞いてみ
よう。

友だちの話し合
いを聞
いて考
えているね。

「学び合う」は「話し合う」だけ
ではありません。子供たちのいろ
いろな学び方を見つけて、認めて
いきましょう。

思っていたよりも、取り組みそう！

できそうなところから、やってみます！

学び合う場面を取り入れた教科指導の例（国語科）

「学び合う場面」を取り入れるポイントの①②③を意識して、国語の授業を行いました。



※網掛けは他学年の学びを見守る場面

	第1学年 A・B・C (自閉症)	第3学年 D (自閉症・ADHD)	第5学年 E (自閉症)	第5学年 F (選択性かん黙)
めあて	「のりもののことをしらべよう」 文章の中の重要な語や文を考えて選ぶ。	「パラリンピックについて調べよう」 中心となる語や文を見付けながら文章を読み要約する。	「和の文化について調べよう」 パンフレット作りに向けて、必要な情報を見付け、説明の仕方を読み取る。	
学習過程	・各学年の本時の学習の流れと、前時までの既習事項を確認する。 ② 授業の流れを確認			
	めあての確認 ・日直を中心に、音読をする。	・新出漢字の練習をする。 めあての確認 ・デジタル教科書を使って音読をする。	・新出漢字の練習をする。 ・意味調べをする。 ・前時で学習した「歴史」の観点での内容や資料の使い方を振り返る。	
	内容の大体の確認	わたり		
	学び合う場面 ・船の「役目」「つくり」に関する文に線を引く。 ① 「～するための」という部分を探すと「役目」が見付けられそうだね。その言葉に気を付けて線を引いた部分をお互いに見合ってみよう。	学び合う場面 ・競技についての動画を見て確認をする。 ・各段落から要約するために必要な語や文を選ばせ、線を引く。 ① 迷ったときは、「パラリンピックが目指すものを伝えるために必要な文章はこれでいいか5年生に聞いてみよう。	めあての確認 ・「他の文化との関わり」の観点での内容（年中行事、茶道）を確認する。 学び合う場面 ・資料と文章がつながっている部分に線を引く。 ① 資料の使い方も説明の仕方の工夫だったね。写真を使うことで何がよく伝わるのか3年生に聞いてみていいね。	③ 5年生を直接指導しながら他の学年も気にかけておこう。
	読み取り ・線を引いた場所を確認する。	読み取り		
	学び合う場面 ・ワークシートに読み取ったことを書く。 ① 色分けをヒントに「役目」や「つくり」を確認してみよう。終わった人は、写真から気付いたことや知っていることを友達と伝え合ってみよう。	学び合う場面 ・選んだ語や文を使って要約する。 ③ （学びが停滞しているな。）何か困ってる？5年生に聞いてみる？先生でもいいよ。 ② 相談コーナーの活用を促す ・まとめたものをお互いに読み合う。 読み合って伝わったら、大切な言葉や文を見付けられたということだね。読んだ感想を伝え合おう。	読み取り 学び合う場面 ・内容を伝えるために適切だと思う資料を選択肢から選びその理由を考える。	③ どこまでできたかな。どんな風に学んでいるかも見ておこう。
振り返り（全体） ・今日の学習で分かったことなどを他の学年に伝える。				



ぼくが「手伝って」と言ったら、Bくんが「一緒に書こう。」と言ってくれました。

自分で友だちに聞くことができるようになっていく。



やり方を提案できたBくんすごいな。



ラン先生の言葉掛けには、授業のねらいに合わせたヒントがあるので、間接指導でも、子供たちが授業のめあてを意識しやすいですね。

他にも こんなことできるかも

間接指導で学年に複数人いる場合は、日直等に学習を進める役をしてもらうのもいいですね。



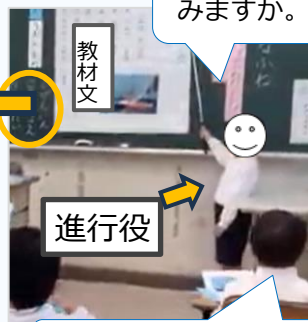
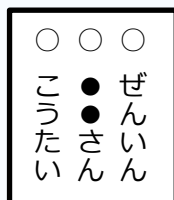
学習を進める役を決める

例えば 音読で…

音読のやり方は、日直さん中心で決めてくださいね。



子供たちに任せられるように、視覚的に示しておく。



進行役

全員で読みたいです。

子供たちは、先生がいない間も「待つ」だけではなく、考えて進めるようになってきました！



友だちと関わって学習を進めることで楽しそうに取り組んでいますね。



「学び合う」ポイントは、授業の中に取り入れやすかったです。

始めは、子供同士で学び合うことは難しいと思っていましたが、間接指導でも子供同士が自然に関わり合いながら自ら学習を進めている姿が見られ、嬉しかったです。子供対先生だけでなく、子供たちみんなで考えていく場面も大切にしていきたいです。



子供たち自身も「学び合う場面」の経験を通して、互いに関わり合いながら学ぶことを学び方の一つの方法として知ることができたでしょうね。他の学習場面においても、必要に応じて、そのような学習方をしていく姿が見られることを期待しています。



間接指導の場面等において、自律的な学びを促進させるための一つの方法として、障害の特性に応じた支援をしながら「学び合う場面」を取り入れることを提案しました。ぜひ、この授業モデルを参考に、児童生徒・学級の実態に応じた授業づくりにチャレンジしてみてください。



本リーフレットは、研究事業（特別支援教育・教育相談部）「自閉症・情緒障害特別支援学級における児童生徒の自律的な学習を進める授業づくりに関する研究」（令和5年度）の成果を基に作成したものです。

※児童の実態は、研究者が設定した架空のものです。（研究代表者 黒木敏弘）



教育センターweb ページ
特別支援教育の部屋

<研究指導者> 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 研究企画部
(兼) インクルーシブ教育システム推進センター

研究員

河原麻子

<共同研究者> 東広島市立川上小学校

教諭

正久真奈美

(発行元・本研究に関する問い合わせ先)
広島県立教育センター 特別支援教育・教育相談部

TEL (082) 428-1188